

産学接続コースの基本情報について

1 コースの分類

分類名	プロ育成教育コース・専門教育コース
-----	-------------------

【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなります。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

2 学科概要

専修学校名	大阪工業技術専門学校	分野区分	工業
課程名	工業専門課程	修業年限	2年
学科名	建築設計学科	学科定員数	80名
学科開設年月日	平成22年4月1日	学科実員数	47名
コース設置年月日	平成27年4月1日	推奨年度	平成27年度
当該学科の教育目標	現代社会に対応できる建築設計能力を伴った技術者の養成を目指す		
就職を目指す職業	建築設計士、建築施工管理技士、その他(建築関連職種)		
入学案内への記載	学生の状況、他学科との相違点		
当該学科に対する学生のニーズ		当該学科に対する企業・業界のニーズ	
社会人経験者や大学・短大卒業者が、培った社会的能力を活かしつつ、キャリア形成を目指して建築の専門的な知識や技術の習得を希望		建築技術のみならず、企画力・提案力及びコミュニケーション能力の備わった人材教育を切望	

3 企業・業界との提携内容等(コースの内容) ※平成27年度実施内容

提携企業名(業界名)	梅田工務店、昭和工務店、永都設計、VSC 建築設計事務所、橋梁設計企業組合プラン、倉島建築研究室、屋根裏設計、その他(建築業界)		
コースの目標	多くの学生が就職希望する設計業務、施工業務の具体的な仕事内容、やりがい、厳しさを体感し、また実業務に必要な各種知識、スキルの習得を目指す。		
企業等との提携内容※両者の役割分担や共同作業の内容など	・企業と分野担当教員とが共同で研修プログラムを作成 ・学校は事前の説明会の開催及び就職志望業界に則した企業の紹介を行う ・提携企業は学生を受け入れ、現場実習を指導する		
コース内容※企業現場実習など	模型作成や図面作成、施主や業者との打ち合わせの場への同席、監理業務、工事現場参加、施工図作成など実際の建築現場を体感し、学校では学ぶことのできない建築業界の実情を知る。これを機にあらためて自身の職業観を見つめなおす学生も多く、またこの機会をきっかけに参加企業への就職を果たした学生も少なからずおり、業界の現実を学ぶとともに就職活動の一環ともなる貴重な機会である。		
提携契約期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日		
提携教育期間	標準2週間(80時間)×年2回(夏季休暇、春季休暇を利用)		
コース受講生の募集・選定方法	事前説明会を開催し企業情報提供を行った後に学生の企業希望を確認。学生が作成する志望動機及び事前面談により該当学生を選出する。		
履修認定	履修認定時間／総授業時間	賃金支払	企業評価の有無
有・無	1年次:160時間／1190時間 2年次:160時間／1224時間	有・無	有・無
評価方法	学校	提携企業の評価を踏まえ、履修認定を実施	
	企業	提携企業による5段階の研修評価を実施	
学生への支援・配慮事項	事前説明会による企業・仕事情報の提供。進路支援担当及び担任教員との面談により学生の希望進路に合わせた企業選択のアドバイス等を行なう。		

4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策(企業等における現場実習以外の対策)

卒業・就職後の早期離職防止のための対策(自由記述)

- ・クラス担任、科目教員、進路支援室職員による個別指導のもと学生本人の適性、性格をもとに指導を行なう
- ・卒業生に対する学校門戸は常に開き相談を受付けている。学校メールアドレスを駆使し密に連絡を取っている
- ・同窓会組織による定例イベントを開催し学科の枠を越えた交流機会を創出している。

5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込(推奨年度の在籍生の卒業時の見込)

ア. 就職者数等	平成 26 年度	平成 27 年度(見込)
a. 学科修了者数	24名	22名
b. 「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	24名	22名
c. 「b」のうち、就職希望者数	17名	22名
d. 「b」のうち、提携企業への就職者数	2名	5名
e. 「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	16名	22名
f. 「b」のうち、進学者数	6名	0名
イ. 主な就職先、業界等	建築設計事務所、総合建設業、工務店、ハウスメーカーなど	

6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 1名(中退率 2.1%)
b. 平成26年4月1日在学者 51名(平成26年4月入学者を含む)
c. 平成27年3月31日在学者 49名(平成27年3月卒業生を含む)
イ. 中途退学の主な理由
進路変更(就職等)
ウ. 中退防止のための取組
クラス担任制により、日々、出席管理をしており、学生本人のみならず保護者とも連携をとり、生活の管理をも含めた指導を行っている。

7 学校関係者評価の実施・公表

・学校関係者評価結果の公表先 URL:

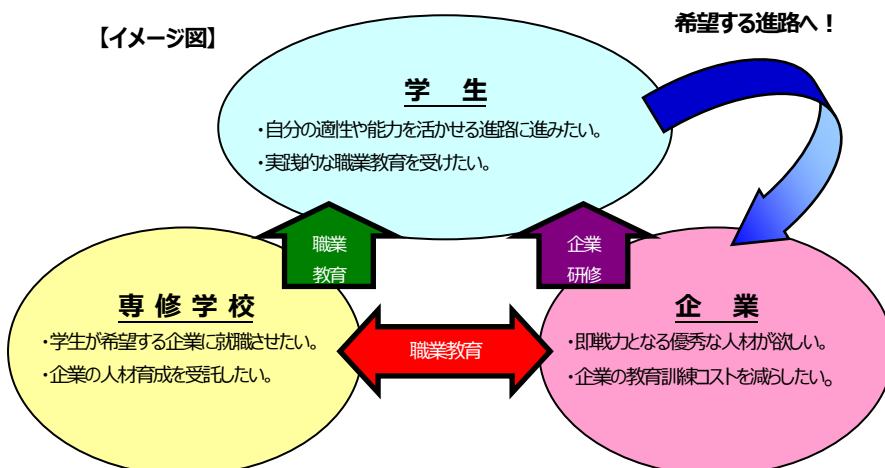
http://www.oct.ac.jp/assets/pdf/other/H24_gakkoukankeishahyouka.pdf

■大阪発「産学接続コース」とは

企業等が求める人材育成を専修学校が受託し、学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供し学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供する専修学校の学科のことです。

この中で、専修学校は、企業との職業教育協定を締結するなど、産業界との連携の中で業界に求められる人材育成を行い、学生には、現場等での実践的な経験等の得られる職業教育を提供していきます。

【イメージ図】



○大阪発「産学接続コース」の要件

1. 専修学校と企業が「職業教育協定」を締結していること。
2. 企業コースに沿った「職業教育カリキュラム」を作成していること。
3. 企業における現場研修の場が提供していること。
4. 労働法規などの法令を遵守していること。
5. 専修学校と企業がコース修了生の評価を行っていること。
6. 卒業生の早期離職防止のための対策を講じていること。
7. 生徒等に対して進路選択に際して有益な情報を提供していること。
8. 学校関係者評価を行い、その結果を公表していること。